

水無月、6月になりました。

水が無いはずですが梅雨が各地ではじまります。衣替えの季節。また、国民の休日が一日もない月でもあります。じめじめしたうっとうしい日が続くこともあります。これも慈雨と考えれば有難い。

6月は行事がなく日程通りの授業が進行してゆく学校が多いかと思います。ただし、これは東京を中心としたもので、全国ではこの時期に文化祭などを行う学校もあると聞いています。

そんな多忙な日々、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【1】最新活動報告

5月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

5月は札幌と東京で部会が実施されました。その内容を報告します。

■札幌部会 (No.9) を開催しました。

日時：2014年5月17日(土) 14時30分～17時00分

場所：北海道教育大学札幌サテライト教室

内容の概略：参加者11名でした。

(1) 野間先生(同志社大学)より年次大会の報告及び夏休み経済教室の内容、および大阪部会での李先生の授業プリントが紹介されました。続いて、中沖さん(清水書院)より、「国際収支関連統計の見直し」に基づき、これからの教科書記述の変更の方向が説明されました。

(2) 兼間先生(定山溪中)より、年次大会で発表された「法教育と経済教育を中学校でどう教えるか」について報告が行われ、討議がされました。

(3) 山崎先生(北見北斗高)より、5月の東京部会でネットを通して報告された「身近な都市問題を事例とした見方や考え方を深める授業開発」についての発表と討議が行われました。ここでは、市役所の場所の選定を巡り、東京と北海道の先生で

評価が異なり、大変興味深い議論となりました。

- (4) 川瀬先生（札幌清田高）および佐藤先生（札幌東稜高）情報提供がありました。
内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo010report.pdf>

■東京部会（No. 67）を開催しました。

日時：2014年5月29日（木） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部会議室

内容の概略：参加者11名でした。

- (1) 石山さん（東京証券取引所）より、夏休み経済教室の進捗状況が報告されました。東証 HP にはアップ済みで、各学校には6月上旬に案内チラシが到着とのことで、それから受付が本格化するという報告でした。

- (2) 野間先生（同志社大学）から札幌部会の報告があり、山崎先生の実践報告と討論の内容が報告されました。また、李先生の実践報告が札幌の先生の関心を引いてぜひ次回は直接話を聞きたいと言う要望があったことも紹介されました。

- (3) 加藤先生（日本大学）より、関係団体との連携企画に関する報告がありました。

- (4) 塙先生（都立府中東高）より「幸せを経済で考える」という実践報告がありました。これは、需給曲線を縦から読み、余剰の考え方を高校生につたえるという意欲的な試みで、実践を巡って問題点などが指摘されました。

- (5) 浅野忠克先生（山村学園短大）から、高等学校公民科教員の研究の報告を受けました。これは全国1500人の公民科教員の出身や専門、さらに教育面で教えづらいもの、経済に関する自身の見解などを集計、分析した成果です。経済学を学んだ教員は全体の四分の一、教えづらい分野は金融と国際経済、自身では市場経済には肯定的だが平等主義的で反格差的傾向を持つことが紹介されました。データに基づいた分析から今後の教員向けの経済教育の課題が浮かび上がる興味深い報告でした。

内容の詳細は、まとめ次第 HP にアップします。それをご覧ください。

【 2 】 イベントカレンダー

■「夏の経済教室」の募集が始まりました。

夏の経済教室の募集が東京証券取引所のHPで始まっています。

名古屋、 8月4日、5日（ウイंकあいち）

大阪 8月7日、8日（国民会館）

東京高校 8月14日、15日（東証ホール）

東京中学 8月18日、19日（東証ホール）です。

内容のちらしは各学校に送付されますが、ネットワークのHPでもアップされています。

東証HPは以下のアドレスです。

<http://www.tse.or.jp/learning/education/kyoin/natsu-keizai/index.html>

ネットワークからのアクセスは以下のHPから可能になっています。

<http://www.econ-edu.net/announcement/index.html>

■大阪部会（No. 39）を開催します

日時：2014年6月21日（土） 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 17階（予定）

内容、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka39flyerR.pdf>

■京都部会（No. 25）を開催します

日時：2014年6月27日（金） 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto025flyer.pdf>

■東京部会（No. 68）を開催します

日時：2014年7月1日（火） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部

内容、参加方法は準備次第アップします。

■札幌部会（No. 11）を開催します

日時：2014年9月27日（土） 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階（JR札幌駅紀伊国屋のビル）

内容、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo011flyer.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■ ノート活用と点検

高等学校の先生方はノートの点検などはされていないでしょうが、中学校ではノート点検が日常的に行われています。これは、観点別評価のためだとおもわれます。

社会科、公民科でノートの点検が必要かどうかは先生方の授業の進め方と関係があります。プリント授業中心の先生にとってはノート点検は意味がないでしょう。それに対して、板書を中心に授業を進めている先生方にとってはノート点検は、授業を生徒がどう受け止めているかのバロメータになります。

点検の前に、そもそもノートをどう取るべきかを指示する必要があります。『東大合格生のノートは必ず美しい』という本がありました。そこには、文頭はそろえるとか、余白を大きくとる、フォーマットを決めて取るなどの法則が紹介されています。先生方も、生徒に同じようなノートの取り方を指示する必要があります。

例えば、板書事項は見開きの左側を使い、右側はメモや課題、新聞の切り貼りやプリントを貼るなどの指示をだしておくなども一例です。

その上で、生徒がどんなノートの使い方をしているか、板書を写す以外に何かの活動をしているかなどを点検すると、生徒の授業の受け止め方が良くわかります。そこから、授業の自己評価もできます。

このように書いている筆者も、実は先日はじめてノート点検を行いました。中学生なのにこちらがうなるようなしっかりしたノートを作っている生徒もいましたし、やつつけのノートを出す生徒もいました。ノートの活用とテストの成績にはかなりの相関関係があることが分かったことも、当たり前といえばそうなのですが、新鮮な発見でした。点検後に一言コメントを入れて返却しました。

労は多かったけれど、益もかなりありました。こんなことはすでにやっているよ、常識だよと言われるかもしれませんが、先生方も一度ノート点検をやってみることを勧めます。

なお、大学ではパワーポイント全盛ですが、そんな時に受講学生がどのように講義内容をメモしてゆくべきか、大学生のノートの取り方指導なども検討の余地ありとも感じています。(新井)

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

先日、『キム・サンギョ教授のことわざ経済学』(大阪教育図書刊) という本の寄贈を受けました。著者の金教授は日本の経済教育学会で発表もされている方です。

内容はタイトル通り、韓国のことわざを切り口として経済学の概念や考え方をやさしく述べた本です。一読面白いという感想がうかびました。もう一つは、日韓関係がぎくしゃくしている昨今、経済学を通して相互理解が可能ではないかという思いでした。経済の勉強だけでなく、韓国の生活事情なども分かる本です。一度手にとってみられるとよいと思いました。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇